



目指す学校像
キャッチフレーズ

東中だより

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)
男子 209
女子 175
計 384



協働する力・共感力・コミュニケーション力



校長 阿部 仁

～まもなく始まる学校総合体育大会～

16日(火)のバレーボール競技を皮切りに、二市大会(一部県南大会)が始まります。各運動部はこれまでに練習試合を盛んに行い、それに比例して個々の技術やチームの戦術などが向上しているようです。3年生にとっては、仲間とともに汗を流し、励まし合い、互いに競い合ってきたその成果を発揮する最後の大会となります。結果を恐れず、自分と仲間の力を信じ、全力で試合に臨んでほしいと願っています。

～部活動から得るもの～

部活動を通して、異学年の人間関係が作られたり、練習や活動を共にする中で部員同士の絆が生まれたりします。チーム競技であれば、メンバー同士の意思疎通とか声の掛け合いなど、チームワークがいかに大切なのかを学ぶこともあるでしょう。また、これとは別に、自分の考え方や行動様式が部活動から大きな影響を受けて変化を遂げているということもあります。それらは「部活動から学んだこと」として自分の糧にしている生徒も多く見られます。受け止め方や感じ方は人それぞれで、何を学んだのかは異なりますが、これらに通底していることは、いわゆる「仲間と協働する力」や「共感する力」そして「他者とコミュニケーションする力」などです。部活動に限らず、教育活動全般を通して育まれる、この「協働する力」・「共感力」・「コミュニケーション能力」などが、今改めて注目されているのです。それは、「生成AI」が急速に普及している現状と不可分ではありません。

～生成AI時代に必要とされる人間力～

いまや生成AIは、私たちの生活のあらゆる分野でその威力を発揮しています。生成AIは大量の情報を高速で処理し、文章作成や要約、発想支援から実物とそっくりな画像生成まで担うことができます。私達の社会は生成AIと共存する社会へと変貌を遂げつつあります。しかしその一方で、生成AIは、相手の置かれた立場や場の空気、言葉にならない感情の揺れを、本当の意味で経験として理解しているわけではありません。だからこそ、人と人が協働する現場では、AIには補いきれない部分を人間が担う必要が出てきます。また、実際の社会では、「誰が何に困り、何を不安に感じ、どのような関係性の中で意思決定を行うべきか」を読み取る力=共感力が求められます。生成AIがどれほど高度になっても、人間同士の関係性の中で生まれる安心感や納得感を支えるのは、人間自身の共感だと思えます。

～教育活動の中で育む力の未来～

生成AIとの共存社会においては、人間がAIに置き換えられるのではなく、むしろ、人間がより人間らしい能力を鍛え直し、その価値を再確認することが重要な意味を持つと考えます。その観点からも、二市大会等の経験を通して、または日々の学校教育活動の中での様々な体験を通して得られる力を確かなものにしていくことが、私たち教育に携わるものに課せられているということ強く感じている昨今です。 — 了 —